

今までと違う景色で、ひと仕事

# 仕事と生活の バランス

vol.55  
*Winter*

公益財団法人兵庫県勤労福祉協会  
ひょうご仕事と生活センター



淡路でワーケーション

## CONTENTS

**特集** | ポストコロナに向けて新たなワークスタイルを ワーク・ライフ・バランス フェスタを開催

4 | ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

5 | 「ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ」受賞作品発表 / 「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」登録数3,000社を達成!!

6 | ワーク・ライフ・バランス神戸地域セミナー 7 | 「ワーケーション」解説 / 施設紹介 8 | 県政トピックス





## W L B F E S T A 2 0 2 1

# ポストコロナに向けて新たなワークスタイルを ワーク・ライフ・バランス フェスタを開催

「ひょうご仕事と生活センター ワーク・ライフ・バランス フェスタ」が11月18日、兵庫県公館で開催されました。今年もコロナ禍の状況を考慮して来場は関係者のみとし、当日の様子は後日、オンラインで配信されました。

ひょうご仕事と生活センターは兵庫県、県経営者協会、連合兵庫と兵庫労働局が連携し2009年度に開設され、全国に先駆けてワーク・ライフ・バランスを浸透させる取組を進めてきました。昨年からポストコロナを見据え、テレワークなど新しいワークスタイルを推進し、長時間労働の削減や勤労者の多様で柔軟な働き方によるワーク・ライフ・バランスの取組を支援しています。

冒頭あいさつに立った片山安孝兵庫県副知事は「8月に就任した齋藤知事は率先してデジタル技術の活用、ワーケーションを実践し、ワーク・ライフ・バランスの取組を推進しています。皆さんも働き方改革の輪をさらに広げていただきたい」と呼び掛けました。



片山兵庫県副知事

続いて、「ひょうご仕事と生活のバランス企業」の表

彰式があり、本年度は12の企業・団体に表彰状が手渡されました。また、「ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ」の表彰式では、「今までと違う景色で、ひと仕事」でグランプリに選ばれた梶川進之介さんをはじめ4人の入賞者に賞状と副賞を贈呈。さらに、企業・団体で働き方改革の推進役を担うキーパーソンの養成講座を修了した13団体18人の修了式も行われました。

この後、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の前野隆司教授が、「幸せな職場の経営～社員の幸せと生産性向上に向けて～」をテーマに講演。最後にひょうご仕事と生活センターの辻芳治センター長が「ワーク・ライフ・バランスの表彰は13年間で累計139企業・団体となりました。ただし、表彰はゴールではありません。人々の幸福を願う職場の働き方、生活との両立の取組に終わりはなく、ポストコロナでテレワークがクローズアップされている今、新たなワークスタイルを目指して絶えず変革を追い求めることが問われています。センターでも引き続き、ワーク・ライフ・バランスの質的向上を目指す取組を支援していきます」と述べ、閉会しました。



辻センター長



## 幸せな職場の経営 ～社員の幸せと生産性向上に向けて～

*Happy workplace management*

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 前野 隆司氏



### 幸せな人は創造性や生産性が高い

幸福に関する研究は数多く行われています。幸福感と仕事のパフォーマンスの関係では、幸福感の高い社員はそうでない人に比べ創造性が3倍、生産性は31%、売り上げは37%高くなります。社員が幸せに働いていればワーク・ライフ・バランスもおのずと実現できるということです。また、幸福感と業務改善の関係を見ると、「業務改善に必要な知識・スキルを習得していると感じている社員」「率先して業務改善を行いたいと考えている社員」「自分の仕事が会社の事業にどのように貢献するかを理解している社員」の幸福度は高くなっています。先進国で調査したところ、幸せを感じている人はそうでない人に比べ7.5～10年寿命が長いことも分かっています。

そうは言っても、「幸せは金次第だろう」と言う人がいます。これは半分正解で半分間違いです。ノーベル経済学賞を受賞したカーネマンの研究によると、年収は日本円に換算して800万円になるまで、増えれば増えるほど幸せになるのですが、それを超えると幸せは横ばいになります。貧困から抜け出した高度成長期は、物質的豊かさで幸せになれた時代でした。しかし、それなりに満ち足りている今の若い人たちは車があっても広い家に住んでも幸せになれるわけではないことに気が始めています。

他人と比較できる金、モノ、地位といったいわゆる地位財による幸せは長続きしません。それに慣れるとさらに上を目指すようになるからです。右肩上がり経済が成長していた時代は、それぞれが増えるから幸せでいられました。しかし少子高齢化で低成長の今、地位財を目指すこと自体難しくなっています。これからは非地位財である社会的、身体的、精神的な幸せを目指すべきでしょう。これらは長続きする幸せです。

### 幸せには4つの因子が影響する

私は1,500人にアンケートを行い、どのような心の状況が幸せに影響するのかを調べました。結果、4つの因子が

明らかになりました。第1因子は「自己実現と成長の因子」（やってみよう因子）です。夢や目標をかなえた人はもちろん幸せですが、夢や目標を持っているだけでも幸せです。また、やりがい、生きがいを持って成長し、強みを伸ばす人も幸せです。逆にやらされ感があって、やる気がない人は不幸せです。岐阜県の未来工業ではホウレンソウ（報告・連絡・相談）を廃止しました。社員に権限を委ね、信じて任せると彼らはやる気を出します。ただ、本人の能力以上の仕事を委ねるとストレスになり、能力以下の仕事を委ねると退屈になります。ちょうどいいぎりぎりのレベルの仕事を任せることがポイントです。

第2因子は、「つながりと感謝の因子」（ありがとう因子）です。いろいろなことに感謝する人、親切で利他的な人は幸せです。感謝するときは形だけではなく、もう10倍心を込めてみてください。また、多様な友人を持つことも大切です。友達は少ないより多い方が、そして多いよりも多様なほうが幸せになれる。職場においても多様な人を認め合って働きましょう。

### 幸せの輪を次々と広げよう

第3、第4の因子は第1、第2の因子を促進する働きを持っています。まず、第3因子は「前向きと楽観の因子」（なんとかなる因子）。誰でも良い部分と悪い部分があり、皆の特異な部分をつなぎ合わせれば、さまざまなことにチャレンジできます。

第4因子は「独立と自分らしさの因子」（ありのまま因子）。他人と比べる人は幸福度が低い一方、人の目を気にせずマイペースな人は幸せです。

これら4つを全て持っている人は、本当に幸せだといえます。第4因子があっても第2因子が欠けていると単なるわがままであり、第2因子が強くて第1因子がない人は自己犠牲が強くて燃え尽きてしまいます。

幸せは感染します。皆さんの一人ひとりが幸せになって家庭を、周りを、そして会社を幸せにし、幸せの輪を広げていってください。

# ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰

受賞団体と主な取組内容（五十音順）

[建設業]

## 株式会社上林電気商会（明石市）

業務の棚卸しにより一人ひとりの業務の見える化を実現し、社員全員が働きやすい職場に

- ・カメラを用いて現場作業を撮影し事務所でオンライン確認するなど、現場のテレワークを推進
- ・社員のライフイベントに対応するため全員で業務内容を共有し、誰でも対応できる体制を構築

[学術研究・専門・技術サービス業]

## 社会保険労務士法人オフィスねこの手（加古川市）

働く時間は会社が決めるのではなく働く本人が決める働きやすい制度を導入

- ・全員のスケジュールを共有し、お客様には三人体制で担当。急ぎの案件もフレキシブルに対応
- ・積極的なITツールの活用、移動時間の削減によりワーク・ライフ・バランスを推進

[建設業]

## 株式会社香山組（尼崎市）

建設会社の新たな働き方を目指し、ITを積極的に導入しDX化を推進

- ・若手社員の採用強化、定着を図るため、若手社員による会議や勉強会を開催
- ・現場に水洗トイレや更衣室の設置など、男女が快適に過ごせる環境を実現

[製造業]

## 株式会社クボタ本社阪神事務所（尼崎市）

多様な働き方ができる環境を整え、生産性向上・業務効率化を推進

- ・始業開始時間を30分ごと9グループから選べる制度を導入（1日ごとに設定が可能）
- ・在宅勤務時のコミュニケーション不足を解消するため、上司との1on1ミーティングを月1回開催

[製造業]

## JCRファーマ株式会社（芦屋市）

「男女の区分なく」を基本方針に、子育てと仕事両立しやすい職場環境づくり

- ・事業所内保育所を設置。利用できない社員には保育補助金制度を導入
- ・子育て応援カフェや管理職へのイクボス研修開催などに取り組み、男性の育休取得を推進

[製造業]

## 大和美術印刷株式会社（姫路市）

作業ごとの標準作業時間を設定し、目標時間を目安に作業を行い業務効率化に取り組む

- ・目標時間と実際に要した時間との差を全社員で検証し、改善
- ・有給休暇を取得しやすい体制づくりのため従業員が複数の機械を使えるよう多能工化を推進

[建設業]

## 但南建設株式会社（朝来市）

新入社員、若手社員を先輩社員がOJTからプライベートまで対応するメンター制度を導入

- ・現場工期終了後は、長期連続休暇取得を推進
- ・ICT技術導入（ドローン、3D情報化施工機械）による時間短縮で残業時間を削減

[卸売業・小売業]

## 株式会社トモエシステム（神戸市）

働く社員の成長や幸せを実現するため、イキイキと安心して働ける職場環境づくり

- ・男性育休100%宣言を行い、2019年から男性育休取得率100%を達成
- ・育休の対象を小学校就学まで広げ、出産手当や育休手当の支給など法定以上の制度を整備

[飲食サービス業]

## ハートスフードクリエイツ株式会社（神戸市）

社員が本来やりたかったことが可能になり、社員のやりがいに繋がる職場づくり

- ・従業員のリフレッシュを兼ねて自社農場での畑仕事や瀬戸内海で漁業ができる環境を整備
- ・広範囲に事務所が分散しているため独自のクラウドシステムを導入し、データの共有化を実施

[情報サービス業]

## 株式会社ビッグバレーインターナショナル（尼崎市）

デジタルホワイトボードを使用しオンラインミーティングの効率化を図り、情報共有の齟齬を回避

- ・一社員を全社員でフォローする仕組みをつくり、自分に合ったリモートワークが行える体制を整備
- ・コミュニケーションを含めたテレワーク体制を整備し、遠隔地に在住する人材採用を実現



[製造業]

## 富士発條株式会社

(朝来市)

ライフプラン全てをキャリアと捉え、従業員が  
目指す理想的なライフプランの実現を支援

- ・ 自社開発の教育システムを導入し、キャリアパスの“見える化”を実施
- ・ 近隣の店舗・商店で従業員限定の割引サービスが受けられる地域協賛店活動を展開

[製造業]

## 御国色素株式会社

(姫路市)

お客様第一のためには社員とその家族が幸せで  
あることを目指した職場環境づくり

- ・ 若手社員が実行委員を務める「ミクニまつり」を開催しコミュニケーションを活性化
- ・ トレーナー付きの社内スポーツジムを設置。全員ができる運動を通じ、他部署間交流を活性化



## 「ワーク・ライフ・バランスキャッチフレーズ」受賞作品発表

2021年度、計1,803の応募作品の中から選ばれた受賞作品を紹介します。

**グランプリ**  
兵庫県雇用対策三者会議賞

■ **今までと違う景色で、ひと仕事**

梶川 進之介さん

**準グランプリ**  
兵庫労働局長賞・働き方改革賞

■ **仕事のやり方十人十色 認めて伸ばす多様性**

津島 颯太さん

**佳作**  
仕事と生活センター長賞

■ **お洒落なまちと豊かな自然！ テレワークこそ兵庫から！  
テレワーク 画面に映る 子供の笑顔**

竹谷 昭宏さん  
小田 祥伍さん

## 「ひょうご仕事と生活の調和推進企業宣言」登録数 3,000 社を達成 !!

2013年5月にスタートした「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」の宣言企業登録数が11月17日、3,000社（団体等含む）に達しました。記念すべき3,000社目の宣言企業、関西陸運株式会社様（姫路市）には、辻芳治センター長から記念品を進呈しました。今後も、さらに多くの企業・団体の皆さんと共にワーク・ライフ・バランス推進に向けた取組を続けてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



### ■ WLB 推進認定・表彰企業向け損害保険料割引制度スタート !!

宣言後、認定・表彰企業になると、県と連携協定を締結している金融機関から優遇金利で融資を受けることができます。11月から新たに損保ジャパン株式会社の保険料割引制度も加わりましたので、ご活用ください。

詳細はこちらから▶



## ワーク・ライフ・バランス神戸地域セミナー

アフターコロナを見据えた新しい働き方について学ぶセミナーが、  
10月26日、オンライン配信で行われました。

Lecture

講演

## アフターコロナの新しい働き方 ～在宅勤務からワーケーションまで～

関西大学社会学部  
教授 松下 慶太氏



コロナ禍でオフィス勤務とテレワークを組み合わせたハイブリッドな働き方が世界的に広がっています。米国のGoogleでは約6割の社員が該当するそうです。では、コロナ禍が終われば、元通りの出社スタイルに戻るのでしょうか。米国のアンケート調査によると、週2日以上テレワークを希望する人は56%、毎日テレワークを希望する人は19%いるという結果が出ています。

日本の大学生に将来希望する勤務スタイルを聞いたアンケート調査でも、54%が週1～2日、23%が週2～3日のテレワークを望んでいることが分かりました。

2000年以降に生まれた「Z世代」と呼ばれる彼らは、SNSをはじめ多様なメディアに囲まれて育った「リモートネイティブ」で、オンラインで済むことはオンライン、必要なことだけオフラインで行うことを好んでいます。時間や場所、人数などの制限が柔軟なオンラインと、ライブ感のあるオフライン。彼らを採用するには、それぞれの長所をうまく取り入れた働き方ができる環境を用意することが求められています。

ハイブリッドな働き方が進む中で、オフィスの役割は変わりつつあります。多くの方は、対面式のコミュニケーションが必要な時のみ出社するようになりました。ただし、まだ一

部の人は、快適なテレワーク環境が整っていないため、集中して作業を行う目的で出社しています。ハイブリッドな働き方を浸透させるには、企業や社会がもっと協力すべきです。

また、新しいライフスタイルの一つとして、旅行先での時間を仕事に充てる「ワーケーション」という働き方も増えてきました。いつもと違う場所で仕事をする事で、リフレッシュできるのはもちろん、イノベーションを生み出す可能性があるのが利点です。ただし対象者をどうするのか、旅費や滞在費はどこまで会社が負担するのかなどの課題もあります。

これら新しい働き方は、「ウェルネス」「コラボレーション」「クリエイティブ」の3つの観点から見る事ができます。健康で心豊かな状態(ウェルネス)と家族・会社・地域での交流(コラボレーション)が新しいアイデアや事業を創出(クリエイティブ)する一方、健やかで心豊かな状態は家族・会社・地域での交流により支えられているというように、これらは影響を及ぼし合っています。

コロナ禍で人々の価値観やニーズは変わりつつあります。アフターコロナの時代は一人ひとりが自身のライフスタイルに合わせ、働きたいように働ける社会を実現させなくてはなりません。

Case study

事例発表

## 遊ぶなかにいい仕事生まれる ～ROKKONOMAD(ロコノマド)の取組～

有限会社Lusie

代表 小泉 寛明氏



弊社が運営する「ROKKONOMAD」は、神戸の市街地からほど近い六甲山上に今年3月、オープンしました。静かに仕事をする部屋、雑談可能な部屋、会議室など目的に応じたさまざまな部屋と、1泊から長期ステイまで可能な宿泊設備があるほか、バーベキューもできます。

街中のオフィスでは効率的に仕事ができますが、ついオーバーワークになりがちで思考が凝り固まってしまうため、時には強制的に自然の中でオフラインの状態をつくり、リフレッシュすることが必要ではないでしょうか。

自然の中では集中力が高まり、思考が切り替わります。誰にも邪魔されないので企画書や原稿を作成するのに適しているほか、テレワークにより顔を合わせて仕事をする機会が減った職場の仲間とのコミュニケーションの場にするのもお

薦めです。また、仕事に行き詰まったら、散歩に出掛けて花を愛でたり鳥の声を聞いたりリフレッシュの時間を挟むことで、抱えていた問題の解決策を思い付き、いい仕事生まれるかもしれません。

現在の利用者は、神戸市や芦屋市など六甲山周辺の方が多く、平均年齢は46歳。フリーランスのクリエイターが新しいアイデアを練る際に利用したり、会社員が個人的に契約して週に一度仕事場にしたりするほか、都会のオフィスを引き払った企業が社員の集まる場として活用したりと使い方はさまざまです。

無理をして遠くまで出掛けなくても、近場の自然の中で息抜きをする。アフターコロナは、そのような働き方がどの企業でも認められるようになってほしいです。



# 「ワーケーション」解説／施設紹介 海へ、山へ、ワーケーションへ

コロナ禍でテレワークが進展し、自宅やオフィス以外の場所で働くといった新しい働き方が注目されています。今話題の「ワーケーション」とはどんなものでしょう。

## ■ ワーケーションって何？

「Work（仕事）」と「Vacation（休暇）」を組み合わせた造語で、英語圏の主要メディアは、「Workcation」とつづっています。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地などで休暇を楽しみつつ仕事を行うことです。これに対し、「Business（ビジネス）」と「Leisure（レジャー）」を組み合わせた造語である「ブレジャー」は、出張等の機会を活用して出張の前後に有給休暇を取得し、出張先等で滞在を延長して休暇を楽しむことです。

## ■ ワーケーションってどんな働き方？

ワーケーションは、休暇を主体とする「休暇型」と仕事を主体とする「業務型」の二つに大きく分類されます。「休暇型」は例えば休暇先でメールチェックやオンライン会議に参加することで、1週間の長期滞在が可能となる場合です。これに対し「業務型」は、リゾート地などで研修や合宿を1週間行い、集中的に個人やチームで新商品の開発に取り組むといった場合などがその例です。

## ■ ワーケーションにはどんなメリットがあるの？

従業員の送り手となる「企業」、受け手となる「地域」、利用する「従業員」のそれぞれに下の表のようなメリットがあるといわれています。

特に、「企業」にとっては従業員の有給休暇の取得促進が図られることで人材の確保、流出抑止、帰属意識が高まることや、新しいアイデアやビジネスが生まれることでイノベーションの創出につながるといったメリットが挙げられます。「従業員」にとっては、長期休暇の取得が可能になり、ストレスの軽減、リフレッシュ効果、業務効率の向上といったメリットが挙げられます。

|              |                                                                                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 企業<br>(送り手)  | 有給休暇の取得促進／帰属意識の向上／人材の確保、流出抑止／イノベーションの創出／CSR、SDGsの取組による企業価値向上／地域との関係構築によるBCP対策／地方創生への寄与 |
| 従業員<br>(利用者) | 長期休暇の取得促進／働き方の選択肢の増加／ストレス軽減／リフレッシュ効果／モチベーションの向上／業務効率の向上／リモートワークの促進／新たなアイデアの創出          |
| 地域<br>(受け手)  | 平日の旅行需要の創出／交流人口および関係人口の増加／関連事業の活性化および雇用創出／企業との関係性の構築／遊休施設等の有効活用                        |

※参考：松下慶太著「ワークスタイル・アフターコロナ」、観光庁パンフレット「ワーケーション&ブレジャー」

## ワーケーション施設紹介

### 六甲山上の泊まれる森のオフィス ROKKONOMAD

ROKKONOMADは、神戸市が推進する「六甲山上スマートシティ構想」のビジネス交流拠点として誕生しました。創造的な仕事をするとき、集中したいとき、森の中に籠るとなぜか気持ちが落ち着き、仕事がはかどります。また、チーム内のコミュニケーションの促進や研修の場としても利用可能です。

#### 施設概要

- ・ワークルーム：窓の外には緑が広がり、集中して仕事ができる
- ・ソーシャルルーム：他の人と交流したりくつろいだりできる
- ・会議室：日常から切り離された環境で、集中して議論できる
- ・コテージ：合宿などグループでステイするのに最適
- ・シェアベッドルーム：リーズナブルに宿泊できる
- ・ウッドデッキ：海を一望できる休憩や交流の場



海を見下ろしながらバーベキューもできるウッドデッキ

〒657-0101

神戸市灘区六甲山町西谷1878-48

営業時間：9:30～19:30 定休日：日曜

アクセス：三宮から車で約40分、

六甲ケーブル「六甲山上」駅から

徒歩12分

☎078-891-0565

料金プランや  
施設の詳細は  
こちらから▼





## 「ひょうごで働こう！ マッチングサイト」に求人掲載しませんか？

無料



インターネットを通じた就職・転職活動が増えています。そこで、兵庫県では、県内での仕事を探している人に直接求人情報を届けるため、「ひょうごで働こう！マッチングサイト」を運営しています。

現在、マッチングサイトに求人を掲載していただける企業を募集中です。

さらに、ワーク・ライフ・バランスの表彰・認定・宣言など、県および県内市町の企業等顕彰制度の認定を受けている企業であれば、「移住支援金※対象法人」になることができ、求職者への求心力も高まります。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

※移住支援金…東京圏からの移住を伴う就業の場合、移住者に対して最大100万円が支給される場合があります

問い合わせ先／兵庫県産業労働部政策労働局労政福祉課 ☎078-362-9168

兵庫県 移住 マッチング

検索



## 求人エリアを首都圏に広げてみませんか？

受入企業募集中

兵庫県では2021年度から新たに、首都圏在住の転職希望者等に向けた兵庫県内企業の就業体験と、短期滞在をセットで斡旋する就労支援を実施しています。現在、就業体験を受け入れる企業を募集中です。より多くの求職者に向けて、求人エリアを首都圏に広げてみませんか。なお、首都圏からの転職希望者等が就業体験参加に必要な宿泊費と交通費については、一般財団法人兵庫県雇用開発協会が2分の1を助成します（上限あり）。

申し込み・問い合わせ先／一般財団法人兵庫県雇用開発協会 ひょうご・しごと情報広場

短期職場体験就業事業担当 ☎078-360-6216

兵庫県ホームページ▶



## 「令和3年 ひょうご女性の活躍企業表彰」受賞企業のご紹介

兵庫県では、女性の育成・登用や職場環境の改善等に取り組んでいる事業所をたたえる「ひょうご女性の活躍企業表彰」を実施しています。今年の受賞企業は次の通り決定し、12月17日に開催した「多様な働き方シンポジウム」内で表彰しました。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 神戸支社、株式会社エコリング、株式会社さくらケーシーエス、株式会社阪技、三菱電機マイコン機器ソフトウェア株式会社、リコージャパン株式会社 兵庫支社（五十音順）

問い合わせ先／兵庫県男女家庭課 ☎078-362-3160

ひょうご イーブン

検索

## 公益財団法人 兵庫県勤労福祉協会 ひょうご仕事と生活センター

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6-3-28 兵庫県中央労働センター1階

TEL 078-381-5277 FAX 078-381-5288 E-mail info@hyogo-wlb.jp

開館 月～金曜 9:00～17:00（祝休日、年末・年始を除く）

阪神事務所

〒660-0881 尼崎市昭和通2-6-68

尼崎市中小企業センタービル6階

TEL 06-6481-1888

姫路事務所

〒670-0947 姫路市北条1-98

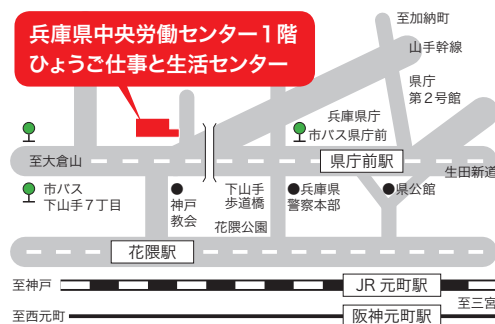
兵庫県立姫路労働会館1階

TEL 079-288-2603

携帯、  
タブレットから  
アクセス  
できます。



兵庫県中央労働センター1階  
ひょうご仕事と生活センター



- 神戸市営地下鉄「県庁前」駅西出口③から西へ徒歩7分
- 神戸高速鉄道「花隈」駅東口から北へ徒歩9分
- JR「元町」駅西口から北西へ徒歩12分
- 阪神電鉄「元町」駅西口から北西へ徒歩14分

（2021年12月発行）

<https://www.hyogo-wlb.jp/>

ひょうご仕事と生活センター

検索